

岩盤浴の細菌検査のご案内



● 岩盤浴とは？

最近のエステや温泉ブームに乗って、エステティックサロンやスーパー銭湯等で非常に人気のある岩盤浴。

岩盤浴とは湿度を70～80%程度に設定された室内で、室温・床温が40℃前後の岩盤に横たわり、岩盤から放出される遠赤外線やマイナスイオンの温熱を受けることによって、体に負担をかけずに発汗作用が得られ、リラックス効果、血行促進、新陳代謝促進などの効果があるとされています。

しかし、岩盤浴は細菌の温床とも報道され、真菌（カビ等）や一般生菌が多量に検出されており、見た目には綺麗な施設でも、目に見えない世界での汚染が進んでいるようです。

細菌の感染源としての根拠については明確ではありませんが、一部の施設より利用者が安全であることを確認したいというご要望や、検査についてのお問い合わせが増加していますので、お客様のご要望にお応えするために検査セットをご用意致しました。

● 検出される細菌はどんな菌？

大腸菌群：ヒトや動物の腸管に常在している大腸菌の仲間です。糞便汚染の指標として検査されるので、大腸菌群の検出はおおまかに不潔度を把握するために有効です。

黄色ブドウ球菌：本来、人の腸管や鼻腔内にも存在しています。ただし、化膿性の感染症ではその病原性は強い菌です。正常な皮膚でない傷口などに入ると化膿します。

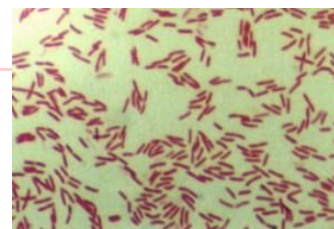
白癬菌：白癬菌（水虫）はカビ（真菌）の一種です。不特定多数の人が靴を脱いで利用する区域（公衆浴場など）に立ち立った場合に感染する可能性があるかと報告されています。

レジオネラ属菌：レジオネラ属菌は、新生児の院内感染による死亡例や、温泉等からの検出事例が増加している環境細菌です。レジオネラ感染症は、健常者では発症しにくく、幼児やお年寄り、抵抗力の弱い人が感染すると肺炎や風邪の様な症状を呈する場合があります。

感染経路は、主としてレジオネラ菌を含んだエアロゾル（細かい水滴）を空気と一緒に吸い込むためではないかとされています。本来、打たせ湯やジャグジー風呂などの方が危険で、浴槽水は半年に1回程度は定期検査がなされます。岩盤浴をお持ちの施設では、浴槽が併設されていることが多いことから、念のため確認されることをお勧めします。

● 岩盤浴向け検査セット（拭き取り検査）

セット名	：	浴場向け環境検査セット
項目内容	：	大腸菌群・黄色ブドウ球菌・白癬菌・レジオネラ菌
採取容器	：	ふきふきチェック(1F) 2本
納期	：	2～3週間（検出菌によっては左記を超える場合があります）
検査料金	：	15,000円（税別）



株式会社ファルコライフサイエンス
食品衛生環境営業部

〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2

TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477

e-mail : info@falco-life.co.jp URL : http://www.falco-life.co.jp/

